子どもの未来 応援します♪

子どもたちがそれぞれの夢と希望をもって成長していける社会の実現を目指していくために、子どもが安心して活動・学習できる環境づくりに取り組む団体の皆さんにお話を伺いました。活動の内容やその様子、そこに関わる人々の声などを紹介します。

NPO法人世界SHIEN こども学校のびすく

～未来ある子どもたちのために、環境づくりをしています～

代表の松井さん

津市内で活動を展開している「NPO法人世界SHIEN子ども学校のびすく」。家庭や地域の子育てを支える環境が大きく変わり、自分の居場所をなかなか見つけられない子どもたちが増えてきている分、「のびすく」では放課後や長期休暇の時間を使って、学校でも家でもできないような体験学習を行っています。たくさんの人と関われる環境の中で、子どもたちが主体者となって活動することで、人に認められる経験や人とつながる経験が「安心して活動ができる居場所づくり」につながっているのです。

この活動を立ち上げた代表の松井強さんは、以前、少年野球の監督をしていたそうです。その時に、「本当にこの子たちは楽しめているのだろうか。ただ大人が与えている場で活動をしているだけではないか。」と感じ、「子どもたちの居場所を大人が一方的に支援し与えるのではなく、子どもたちが主体的に自分たちで考えて行動できるように、学校でも家でもできないような体験の場づくりが地域の力でできるのでは」と考えたのが、活動のきっかけだったそうです。

津まつりでの風船合戦!

「のびすく」では、子どもたちにさまざまな活動の場を提供します。津まつりでは、レインコートを着ながらの「水風船合戦」を遊び体験として企画しました。他にも県の総合文化センターと博物館の間で花の植え替え作業を行うといった活動もしています。そこで、参加していた子どもたちは活動を見ていた人たちから「頑張ってくれてありがとう」と声を掛けられていたそうです。松井さんは、「多くの人から褒め言葉をシャワーのように掛けられることで、活動する子どもたちの達成感や自己肯定感につながったと思います。」と話していました。

クリスマスリース・ツリー作り

また、地域にある児童養護施設「みどり自由学園」のことが、あまり地域の人に知られていないことを課題と感じていた松井さんと、「学園と地域の間の『見えない壁』をなくしたい」と思っていた園長の中野さんの思いが、「のびすく」と「みどり自由学園」共催の活動を生み出します。地域で子育てをしている皆さんに学園の施設を開放し、学園の子どもと地域の子どもが一緒になってクリスマツリー作りやリース作りを行いました。今後は、学園を会場として、広く一般にも参加を募り、「子どもがつくる子ども食堂」の開催も予定しているそうです。「子どもたちが自分でメニューを考え、自分たちで料理し、参加者に食べてもらうという企画です。多くの子どもたち、地域の人たちに参加して欲しいと思っています。」と松井さんは話してくれました。

夏キャンプでのカレー作り

「のびすく」では、他にも「ママサロン」「ママカフェ」を開催し、子育てしている親の日頃の悩みなどをシェアする活動も行っています。